

科目名	公務員セミナー	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			法律学科	□ 必修	■ 選択
			学科	□ 必修	□ 選択
英文表記	Seminar for a Public Officer	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 □ 後期 □ 通年 ■ 集中		
ふりがな	さとう ひろとし	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	佐藤 寛稔	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	公務員試験で得点源にしやすい分野を集中的に学びます。				
到達目標	公務員試験の初歩的な問題を解くことができ、なおかつ、小論文・面接に対応できる。				
授業概要	公務員試験には多数の科目が出題されます。また学科試験だけでなく小論文・面接など様々な角度からその資質を問われます。この講義では訓練すれば得点につながりやすい分野を集中的に学び、公務員試験の得点力アップを目指します。				
授業計画					
第1回	公務員試験について 試験科目/面接/論作文				
第2回	教養日本国憲法 国会				
第3回	教養日本国憲法 内閣				
第4回	教養日本国憲法 裁判所				
第5回	教養日本国憲法 地方自治				
第6回	教養日本国憲法 自由権 精神的自由権				
第7回	教養日本国憲法 自由権 経済的自由権・人身の自由				
第8回	教養日本国憲法 自由権以外の人権				
第9回	定番の時事問題 日本の政治・行政の諸課題				
第10回	定番の時事問題 国際関係・外国事情				
第11回	定番の時事問題 災害対応・環境問題				
第12回	定番の時事問題 日本の財政事情				
第13回	面接シートを書く				
第14回	模擬面接・面接で聞かれた質問例				
第15回	まとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. シラバスを読み、関係する内容について基本的事項を確認する。(1.5時間程度) 2. 授業中に教員がはなしたことをノートに整理しなおす(1.5時間) 3. 日々新聞を読む(0.5時間)				
履修条件 受講のルール	公務員に興味がある学生の受講を想定しています。期末試験も想定をもとに出題します。法律学科の専門科目であることに鑑み、法律学科学生が1年前期で学んだ法律学の知識は当然の前提とします。公務員になる人間としてふさわしい言動を求めます。不合理な理由での遅刻、授業中の私語、整容の乱れは一切認めません。				
テキスト	佐伯仁志・大村敦志『ポケット六法 令和3年版』(有斐閣)				
参考文献・資料	芦部信喜著 高橋和之補訂『憲法(第7版)』(岩波書店)				
成績評価の方法	秀(100~90点)、優(89点~80点)、良(79点~70点)、可(69点~60点)、不可(59点以下)				
オフィスアワー	毎週火曜日 10:40~12:10 および金曜日 13:00~14:30				

成績評価基準	【平常点(15%)、授業内レポート(25%)、定期試験(60%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 <ul style="list-style-type: none">・出席回数が規定に満たない場合は試験を受けることができません。・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	公務員試験の導入科目です。将来公務員を目指す方は是非履修してください。